第153回アイテック教育フォーラム資料

ITEC商品と事例紹介

平成30年5月22日

町　大輔

株式会社アイテック

iTEC

アジェンダ

1. 働き方改革について
2. 生産性向上研修事例紹介
3. お勧め研修紹介
4. 実践力強化ゼミ(オープンセミナー)
5. 情報処理技術者試験対策
6. 内定者、新入社員研修カリキュラム
7. ベトナムでの日本向けIT人材育成

iTEC

1．『働き方改革』の推進

何のため？ → 「一億総活躍社会」の実現のため

なぜ？ → 労働人口が減っているから

対策は？ → ・働き手を増やす
・労働生産性を上げる

そのための課題は？ → **・労働人口の不足**
・長時間労働

研修にてフォローいたします

iTEC

では

どんな研修　で？

iTEC

1. 働き方改革関連のカリキュラム例

- 仕事のスピードを上げる段取り力研修
- 生産性を上げるタイムマネジメント研修
- チームの生産性を上げる効率化研修
- 結果の出る会議研修（会議参加者向け）
- 結果の出る会議研修ファシリテーター向け　実践トレーニング
- 会議や商談で意見が伝わる！伝達コミュニケーション研修
- ダイバーシティ研修
- 女性活躍推進研修
- グローバルビジネスコミュニケーション研修
- シニア社員向け　自分力強化研修
- シニア社員向け　ワークライフバランス構築研修
- シニア社員向け　後進の指導・育成研修
- シニア社員向け　キャリアプラン研修

実際の
事例としては？

iTEC

2. 生産性向上研修事例紹介

対象は？	全社員を階層ごとに実施
カリキュラム検討はどのように？	階層ごとにヒアリングを実施
効果検証はどのように？	講座終了2か月後に行動変化をチェックいたしました

iTEC

2. ヒアリングから見えた階層ごとの主要課題

対象	ヒアリングから見えた課題
～4年目	■ 要求理解が不十分。突発作業で仕事が滞る ■ 仕事の進め方、段取りに課題を持っている
リーダー～	■ 優先順位づけが十分でない ■ メンバーに論理的に伝える力が不足
チーフ～	■ チーム内外との調整やメンバーへの指導方法に課題意識あり ■ 自分で考える意識がやや弱い（上位からの意見）
課長～	■ 部下に効率よく理解させる方法など、メンバーの指導方法に課題意識あり ■ 自ら決断する力がやや弱い（上位からの意見）
部長～	■ 重要度・緊急度の高い仕事が多い中で、部下に仕事を任せられない

2. 5階層のプログラム設計概要

対象	～4年目	リーダー～	チーフ～	課長～	部長～
研修名	「仕事のスピードを上げる段取り力研修」	「生産性向上研修」	「チームの生産性を上げる効率化研修」	「生産性向上ミドルマネジメント研修」	「生産性向上シニアマネジメント研修」
内容	✓ 時間内に仕事を収める段取り力 ✓ ミスをしない仕事の受け方 ✓ 業務遂行をスムーズにする報連相	✓ PDCA ✓ 判断基軸で考えることによるスピードアップ ✓ 論理的に聞き/伝えることによる時間ロスの低減	✓ チームの生産性を上げる自らの役割と行動 ✓ チームの段取り ✓ 論理的に聞き/伝えることによる時間ロスの低減	✓ 自組織の生産性を上げる管理職としての役割と行動 ✓ 優先順位の判断基準要素の明確化 ✓ チームの段取りマネジメント	✓ 生産性に関する自組織の問題点の明確化 ✓ 自ら取り組むべき課題の明確化 ✓ 課題解決のための自組織への展開施策案
コンセプト	段取りによる自分の仕事の効率化	自分および、他者との協業による仕事の生産性向上	生産性を上げるチームマネジメント	生産性を上げる組織マネジメント	○○億達成に向けた、より生産的な組織風土の醸成

iTEC

2. 研修後の「学び定着サービス」の狙い

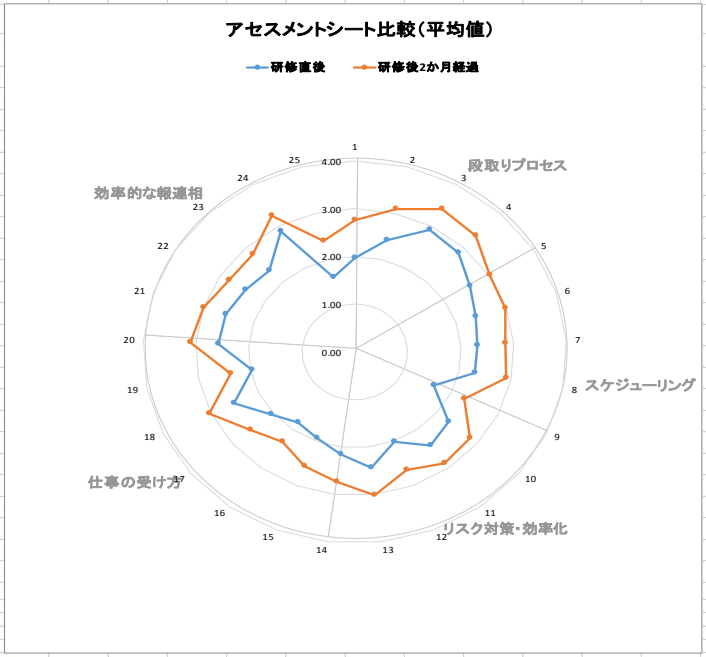
- 研修での学びを、日々の業務実践の積み重ねで体得していただく
- 「行動チェックシート」で振り返ることで、タイムマネジメントの動機付けとする
- 行動レベルでの定着効果を測定・見える化する

2. アウトプットサンプル

「生産性向上研修」の研修後の行動定着効果報告 （1階層全体）

●全体の平均　584名分

2018/5/15　株式会社アイテック



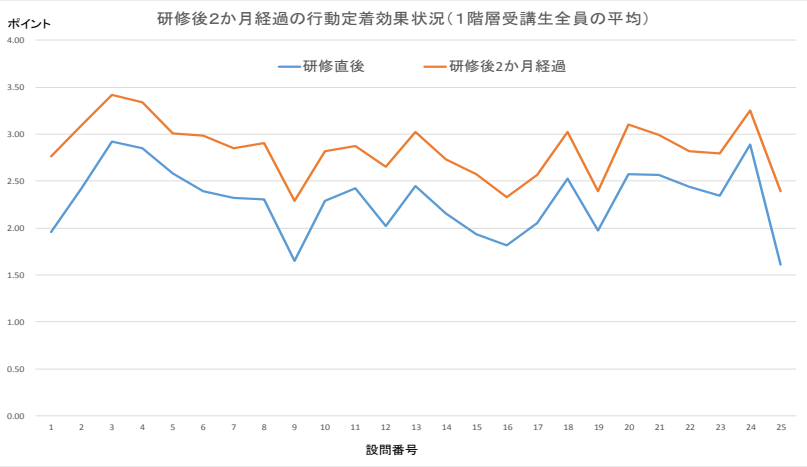
No	アンケート項目名	研修直後	研修後2か月経過	差
1	仕事は、課題把握⇒ゴール設定⇒方法策定⇒スケジューリング⇒リスク対策のステップで段取りしている	1.96	2.76	0.80
2	ゴール、目標、途中目標を決めてから仕事に取り掛かっている	2.42	3.09	0.67
3	優先順位を必ずつけてから取り組んでいる	2.92	3.42	0.49
4	毎日スケジュールはチェックし、適宜調整している	2.85	3.34	0.49
5	自分の仕事量を常に把握している	2.58	3.01	0.43
6	仕事のタスクは可視化ができている	2.39	2.98	0.59
7	時間の見積は余裕を持たせている	2.32	2.85	0.53
8	仕事の締切日の前に、自分のデッドラインを作れている	2.31	2.91	0.60
9	割り込み仕事のときは、発生前と発生後のシーンでリスクを想定できている	1.65	2.29	0.64
10	仕事の先送りをしないようにしている	2.29	2.82	0.53
11	根拠や判断軸を持って判断している	2.43	2.88	0.45
12	やめる、統合する、置き換える、簡素化して無駄をなくしている	2.02	2.65	0.64
13	時間のかかる過度なこだわりや自己満足は手放している	2.44	3.03	0.58
14	割り込み仕事が発生しても、すぐに飛びつかない	2.15	2.73	0.58
15	仕事を受けるときは、5W4Hで確認ができている	1.93	2.57	0.64
16	オープンクエスチョンで、相手の要望を引き出せる	1.82	2.33	0.51
17	仕事を断るときは、代替案を提示している	2.05	2.57	0.51
18	仕事を受ける時は、その仕事の目的を相手と共有している	2.53	3.03	0.50
19	打ち合わせで相手の意図を効率よくまとめられる	1.97	2.39	0.41
20	報告はなるべく沢山している	2.58	3.10	0.53
21	相談するときは、人の時間を奪わない配慮・気配りができている	2.56	2.99	0.43
22	人とのアポイントは先に押さえている	2.44	2.82	0.38
23	上司に相談するときは、選択肢を用意して判断してもらっている	2.35	2.80	0.45
24	悪いことほど早く報告している	2.89	3.26	0.36
25	PREP法で簡潔に相手に伝えられる	1.61	2.39	0.78
	平均	2.30	2.84	0.54

●伸びが高い分野と設問番号

分野名	設問番号	
段取りプロセス	1	2
スケジューリング	8	
リスク対策・効率化	9	12
仕事の受け方	15	
効率的な報連相	25	

●伸びが低い分野と設問番号

分野名	設問番号	
効率的な報連相	22	24



●所感

・全体的に2か月間で研修直後より行動ができています。
・業務の段取りや作業プロセスのコツは、研修で明確なものを提示したので、現場でも実践しています。
・スケジュールの立て方や、割り込み作業についての考え方は、研修でもボトルネックになっている人が多かったですが、研修後は意識的に行動ができています。
・手戻りにならないよう、「仕事の受け方」も意図的に実践できています。
・相手に論理的に伝える手法は、研修でトレーニングしたことを現場で使えています。
・報連相をもっと今以上に、頻度を上げていくと、ステークホルダから信頼されるビジネスパーソンになれるでしょう。

iTEC

参考:【カークパトリックの4段階測定】

レベル	定義	測定内容と項目
1	Reactions（反応）	「受講者はそのプログラムを気に入っていたか？」 受講者の理解度、満足度
2	Learning（学習）	「受講者はプログラムにおいて何を学習したか？」 受講者の知識、スキルの習得度
3	Behavior（行動）	「受講者は学習したことに基づいて自らの行動を変化させたか？」 受講者の職場での活用度、行動の変化
4	Results（結果）	「受講者の行動変容は組織に良い影響をもたらしたか？」 生産性の増加、品質の改善、コストの削減、クレームの減少、事故の削減、売上拡大、離職率の低下、利益率の増加

研修でレベル3まで実施可能

※出典:『[実践]社員教育推進マニュアル』

2. 今回の研修の全体図

ヒアリング

カリキュラム検討、作成

研修 <イントロダクション>

研修後、現場でどれだけ実践したかが肝！

メインの学習期間

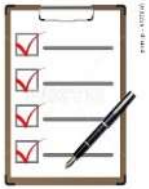
学習の振り返り

学習効果検証

社員様の行動

1～5階層
研修受講

研修直後



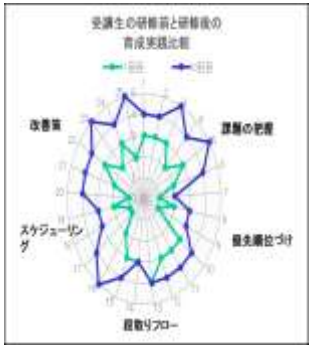
行動チェックシートで
現状の自己評価
（紙）【受講生保管】

2か月間

受講生
学びを業務で実践

2か月後

再び行動チェックシートで自己評価
（Excel画面にて）



弊社の行動

リマインドメール

激励メール

催促メール

iTEC

チェックシート送信

チェックシート回収

iTEC

集計後
ご報告

御　社

※オプション：社員様からの質問・相談メールも承ります（但し、技術的な業務の質問は不可）
※弊社からの受講生様への送受信が不可の場合は、ご担当者様にて配信・回収をお願いいたします。

３. お勧めヒューマン研修

- **マネジメント力強化**
  - ●失敗しない要件定義実践
  - ●SEのためのチームマネジメント研修
  - ●ハラスメントを起こさない職場作り研修
  - ●チームの力を最大化する、コーチ型リーダーシップ研修
  - ●顧客ニーズを引き出す要件定義(BA)実践
  - ●ITサービスマネジメント実践(移行/運用)
- **セルフモチベーション**
  - ●逆境力・折れない心の育て方　レジリエンス研修
  - ●「人生100年時代」の働き方を考える研修
  - ●キャリアデザイン研修
  - ●マインドマップセルフコーチング研修
- **営業力強化**
  - ●ＳＥのための営業力（ビジネスマインド）強化研修
  - ●相手の心を動かす　プレゼンストーリーの作り方研修
  - ●理系脳のための顧客を怒らせない会議術
- **業界動向理解**
  - ●SEのための人工知能活用
  - ●IoTを活用した新規事業の創出

働き方改革支援の対応範囲

課題
・業務生産性向上
・社員スキルアップ

↓

「働き方改革」

↓

フォーバルグループ

iTEC
人事/教育

＋

FBS
オフィス
（ハード）

ICT
（ハード）

コンセプトに合った
行動を誘発する空間造り

オフィス
（ハード）

ICT
（ハード）

「働き方」アンケート

オフィスコンセプト

「**自社**らしい」オフィスリニューアル

4. 実践力強化ゼミ(オープンセミナー)

IT市場で求められる“IT技術者”

顧客ビジネスを発展させる
イノベーティブな提案

「使う」人材から「活かす」人材

×

プロジェクトの確実な遂行
優良サービスの開発と継続

「作る」人材から「創る」人材

顧客の期待に応え、プロジェクトを成功させる対応力

実践力のあるＩＴ技術者

が求められています。

実践力強化ゼミの特徴

1day 短期集中

ほとんどの講座が1日完結型なので、限られた時間の中で集中して学習をすることで知識の定着をはかります。
さらに、自分のいる環境を変えることでその効果をより高めることもできます。

少人数制

受講生全員に講師のフォローが行届くように、あえて少人数制で実施しています。また、一人一人のレベルに応じて丁寧な対応を行いますので、スキルや力をより身につけやすい講座となっています。

経験豊富な講師陣

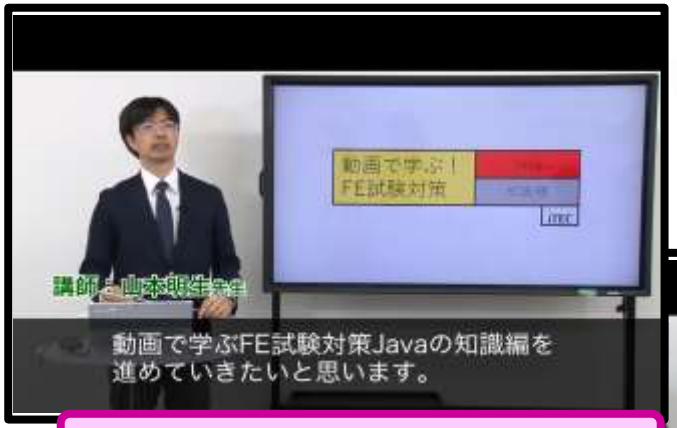
大手企業での実務経験や、研修講師経験、著者としても活躍されている有名な講師による特別カリキュラムをご用意しました。
受講後、直ぐに現場で活用できるスキルを提供します。

5. 情報処理技術者試験対策

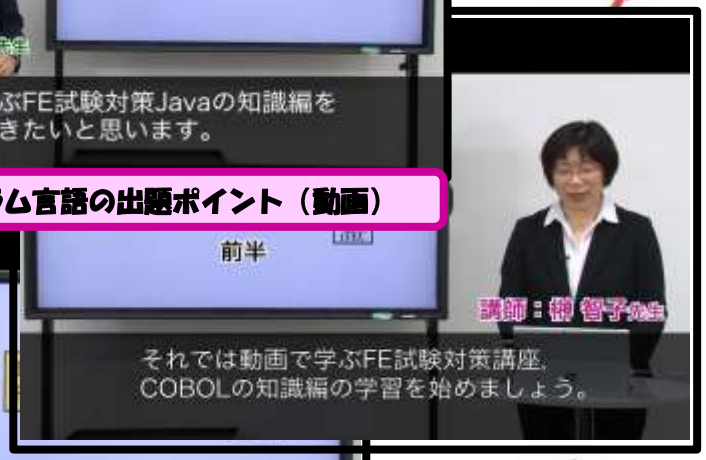
変更ポイント　・・・　動画コンテンツ強化

（榊講師，戸室講師，長嶋講師，山本講師）

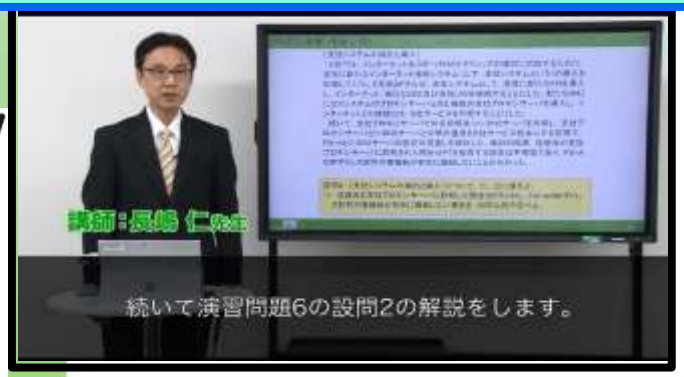
講義で学ぶ「コンピュータシステムの基礎 第17版」（教材付）

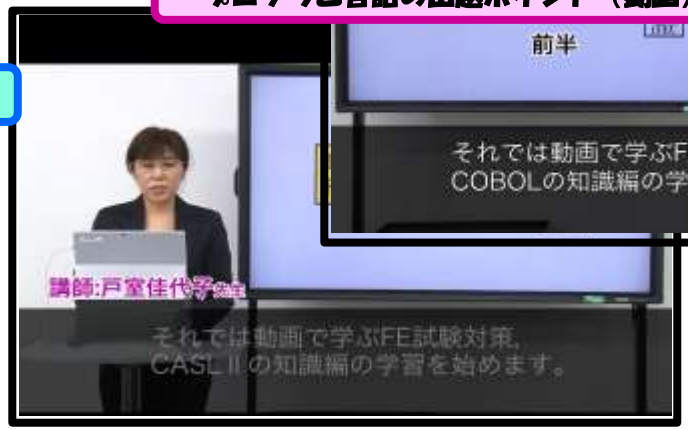


プログラム言語の出題ポイント（動画）



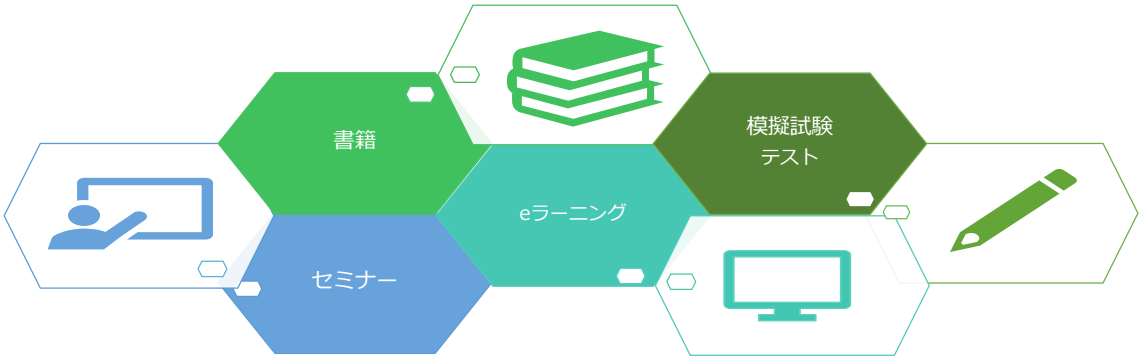
情報処理安全確保支援士 午後問題対策 Vol.2（動画）





6. 内定者、新入社員研修カリキュラム

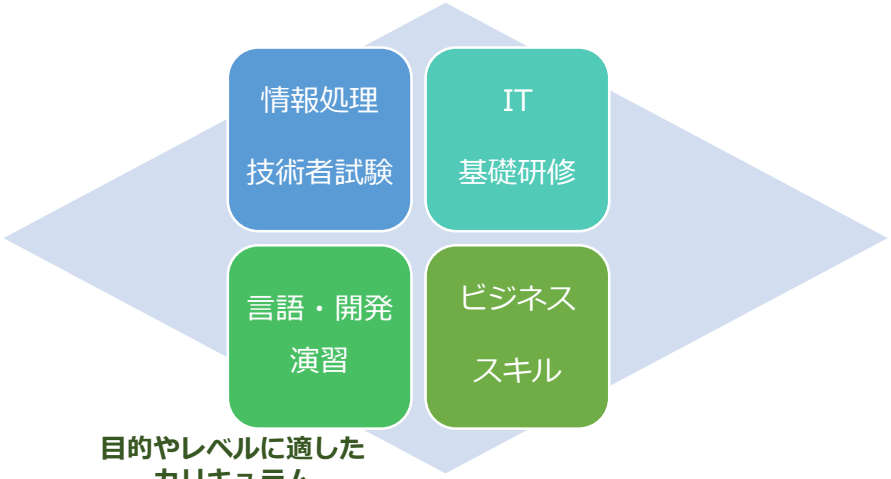
内定者研修



状況に合わせた学習方法

個別学習管理支援・モチベーションアップフォロー

新入社員研修



目的やレベルに適した
カリキュラム

7. ベトナムでの日本向けIT人材育成

日本国内IT企業

日本就業スキル強化コース

ITビジネス日本語(IP-日本語)

IT基礎-コンピューター基礎、ソフトウェア開発技術、ネットワーク、セキュリティ、マネジメント、ストラテジ(FE-英語・越語)

ビジネス基礎礼儀、マナー、報連相

ビジネス日本語ブラッシュアップ

OJT

内定者

日本企業による就職選考会

選抜テスト・講師面接で候補者選抜

日本就業希望者

日本語(N3)相当

IT系学科専攻

7. ベトナムでの日本向けIT人材育成

IT基礎・OJT

コース内容	IT基礎知識（FE内容）のトレーニング OJTでソフトウェア開発知識のトレーニング
目標	IT基礎知識（FE試験）とソフトウェア開発知識を身につけ、実際のプロジェクトの展開方法が分かるようになる。更に、開発サポートのツールの使い方を学びながら、詳しいケーススタディを通し、開発・デバッグの能力を身に付ける。
種類	IT基礎（FE試験）コースと開発技術＋OJTコース
期間	IT基礎コース：2018年12月1日～2019年3月31日 開発技術OJTコース：2019年4月1日～2019年8月31日（卒業まで継続）
スケジュール	IT基礎コース：週1回3時間＋課題 OJTコース：毎日出社
担当講師	FE取得エンジニア

7. ベトナムでの日本向けIT人材育成

日本語ブラッシュアップ・ビジネス基礎

コース内容	説明
目標	日本語N3レベル相当を基本とした文法項目、語彙を理解し、既習項目から適切な表現を使って身近な話題や様々な場面に応じて会話ができるようになる。さらに、簡単な意見を述べることができるようになる。 また、日本で生活・就業する上で必要な習慣や文化を学び、そして仕事で困らないための基本的なビジネスマナーを身につける。 ITビジネスで使う日本語を理解するためにITパスポートレベルの日本語を身につける。
コース	・日本語強化、ビジネス基礎コース ・IT日本語コース（ITパスポート）
期間	2019年4月1日～2019年8月31日（卒業まで継続）
スケジュール	週2回、1回2時間
担当講師	日本人日本語講師

7. ベトナムでの日本向けIT人材育成

- 対象：　2019年卒業予定大学生
- 前提スキル：日本語N3相当、IT系学科専攻者
- 募集大学：　ハノイ工科大学(6月以降卒業)
  FPT大学(1月、4月、8月卒業)
  ハノイ大学(非エンジニア人材)
- プログラム期間：
  現地選考会実施期間：
  FPT大学：2018年7月～11月
  ハノイ工科大学・ハノイ大学：
  2018年10月～11月

日本就業スキル強化コース：2018年12月～卒業まで
※卒業時期は大学により異なります。

iTEC

END

ご清聴ありがとうございました